

平成26年度 海上の森保全活用事業の取組状況

「あいち海上の森条例」（平成18年4月1日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	農地（体験学習プログラム「里と森の教室」で使用）の適切な維持管理のため、委託業務を実施 0.746ha
森林育成事業	人工林整備	人工林の健全な育成のため、過密林分の間伐等を実施 4.81ha
森林の維持管理事業	林道・作業道の補修等管理	森林の適切な管理や活動のために利用する林道及び作業道の維持管理工事を実施 (ヒューム管設置工2か所)
	歩道等の整備・補修	森林の適切な管理や活動のために利用する歩道の草刈りなどの維持管理工事を実施
	巡視の励行	散策者の安全確保等のため、落枝除去・歩道等の点検と巡視
遊歩施設整備	遊歩施設の適正な管理を図るため、物見の丘展望台床修繕工事を実施	
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、カシノナガキクイムシ被害木等の危険木伐採、草刈、センター内の除草等を実施	
自然環境調査事業	森林モニタリング調査	森の遷移を長期的にモニタリングするため、自然林の植生状況を調査 3か所
	希少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、生息状況を調査
	猛禽類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査
	調査報告書	調査結果を海上の森調査報告第4号としてとりまとめ

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

事業項目	取組状況				
	行事名等	定員 (延べ)	参加数 (延べ)	参加率 (%)	
体験学習の実施 (体験学習プログラム)	里と森の教室	田植え、野菜づくり等 10回セット	50	61	122
	調査学習会	初夏の海上の森(花、虫、鳥)	30	32	107
		海上の森のキノコ	50	36	72
		海上の森の水生生物	30	30	100
		計	110	98	89
	森の楽校	遊歩施設・幼児体験フィールドを活用した森林環境教育(2回)	180	185	103
計		340	344	101	
多様な主体の参加の促進	県民や県民参加組織との連携	海上の森の会との連携 サポーター制度 43名の登録(27年2月末現在)			
	企業との連携	現在活動中の企業6社 ナゴヤキャッスル、豊田自動織機、トーマツ、 小林クリエイト、伊藤園、カルビー 森林整備面積: 3.76ha			
	全国の里山保全活動や施設との連携	あいち自然環境団体・施設連絡協議会(あいち自然ネット)との情報交換(6回)・連携イベント(いきもの探検隊)			
	大学・小中学校・官庁・市民団体等との連携	<講義・実習> 名古屋大学、南山大学、愛知工業大学、法政大学、早稲田大学、岩倉市、名古屋市教育委員会、浜松城北工業高校 <団体、環境教育等> 萩山小学校、幡山東小学校(3回)、下品野小学校、リニモツアーズ、南山大学附属小学校、 <調査> 海上の森モニタリングサイト1000調査 日本自然保護協会指導の植物・鳥等の市民調査(センター担当: 哺乳類)、森林総合研究所			



里と森の教室(田植え)



調査学習会
(海上の森の水生生物)



森の楽校

(2) 人材育成

事業	項目	内容
人と自然の共生 国際フォーラム	テーマ	自然と共に歩む明日をつくろう
	実施日	平成 26 年 10 月 4 日 (土) ・ 25 日 (土)
	場 所	パルティ瀬戸 (10/4) 愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター(10/25)
	プログラム	10 月 4 日 ・活動発表会 ・グループディスカッション 10 月 25 日 ・開催の式典 ・特別講演 ・パネルディスカッション ・フォーラム宣言
	講演者等	○特別講演：畠山重篤氏 ○パネルディスカッション コーディネーター：川井秀一氏 コメンテーター：マリ クリスティーヌ氏 パネリスト：金城愛氏、矢部隆氏、石川喜一朗氏
	運 営	※人と自然の共生国際フォーラム実行委員会を組織して 実施 委員会 2 回開催、委員長：森岡副知事
	参加者数	約 6 0 0 名
あいち 海上の森大学	実施期間	平成 26 年 7 月～平成 27 年 1 月 7/12 開校式、1/24 閉校式
	講 座	森林再生・環境教育コース (含む国際交流コース)
	場 所	あいち海上の森センター研修室・海上の森
	運 営	学 長 マリ クリスティーヌ氏 副学長 稲垣元副知事 ※ 大学運営委員会で内容検討 2 回開催
	修了者数/ 受講者数	森林再生・環境教育:22 人/30 人



人と自然の共生国際フォーラム
(特別講演)



あいち海上の森大学
(閉校式)

3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信

事業項目	取組状況
学習プログラムの作成・提供	学習教材「自然観察ガイドブック」を有償頒布
自然環境情報等の収集整理・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・インターネット情報発信 書籍の購入 ・「ムーアカデミー通信」の発行 3回 ・「海上の森調査報告書第4号」の発刊

4 センターの整備と運営

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	<p>施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、企画調整、樹木管理など</p> <p>○施設利用者数（平成27年2月末現在） あいち海上の森センター 14,232人（累計 191,830人） 有料施設利用件数 工作室 9件 研修室 4件 幼児森林体験フィールド H26実績：13回、847人 オープン時の公開講座(20.3.20)から27年2月末まで 延べ101回 7,864人</p> <p>○スタンプラリーの実施（H19.10.20から参加者1,352人）</p>
海上の森運営協議会	<p>2回（26年8月20日・27年3月18日）開催</p> <p>○平成26年度海上の森保全活用事業の取組 ○平成27年度海上の森保全活用事業の事業計画 ○次期海上の森保全活用計画の策定について 等</p>
第2次海上の森保全活用計画策定検討委員会	<p>2回（26年12月24日・27年2月17日）開催</p> <p>○現状と課題を踏まえての次期計画の方向性について ○第2次海上の森保全活用計画の骨子について</p>